

# 令和3年度 学びの改革実践校応援事業 運営計画

## 1 目的

これからの社会を見据えた学校づくり、授業づくりを進めようと一歩踏み出す校長を後押し、学校のシステム改革や授業改革を支援して、「学びの改革」の実現をめざす学校の拡大を図る

>>> 事業統合による「学びの改革」の加速 <<<

学びの改革実践校応援事業



信州型ユニバーサルデザイン学校支援事業

※ 令和3年度は二つの事業を統合することで、「学びの改革」のさらなる加速を図る。

## 2 学びの改革実践校への応援メニュー

校長の自由裁量で活用  
できる加配教員の配置

一流講師による最新の知見を習得  
学びの改革ミニフォーラム

各ブロックで定期的な情報交換  
オンライン情報交換会

自校の実態に応じた改革の助言  
改革アドバイザーの訪問

自校の改革を進めるための視察  
県内外の先進校への視察

改革実践校同士で情報共有  
チームコミュニケーション  
ツールの活用

## 3 県内の小中学校への情報発信

学びの改革実践校の取組を発表  
学びの改革フォーラム

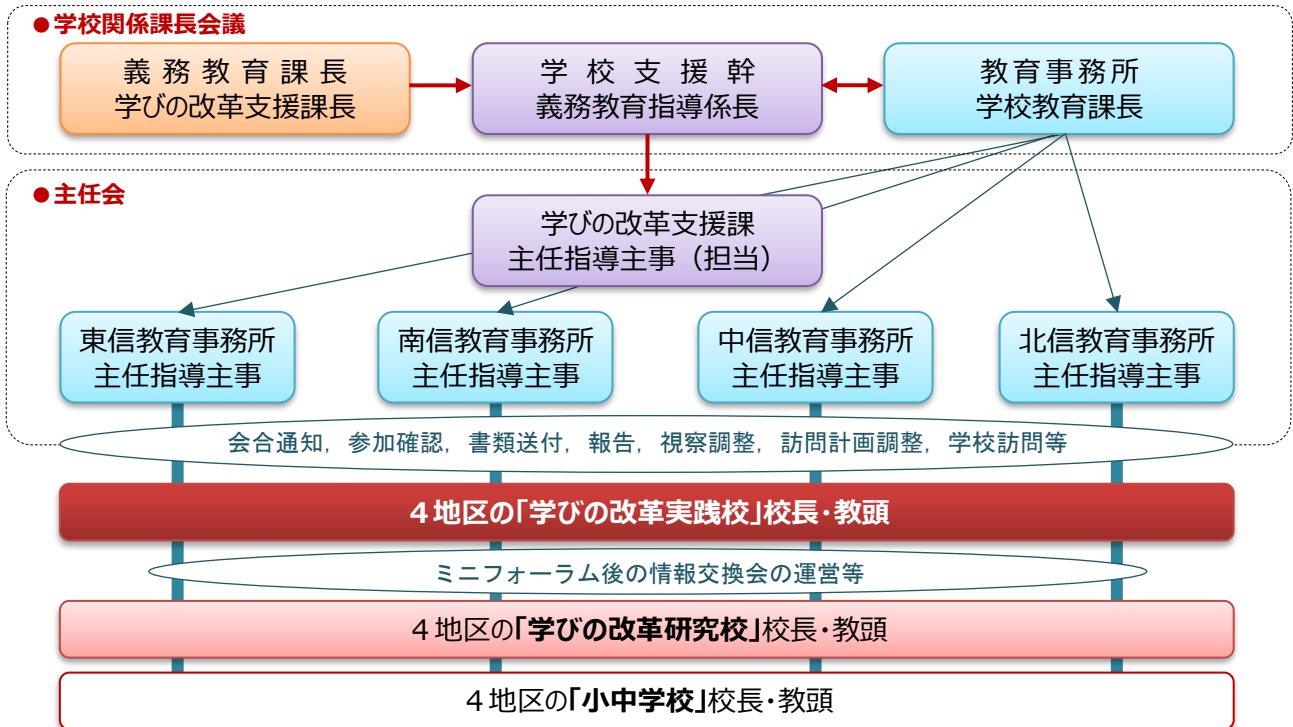
リアルタイムで情報発信  
Facebook ページ発信

視察の成果を近隣校へ情報発信  
視察報告

## 4 取組の詳細

学 び の 改 革 実 践 校 へ の 応 援 メ ニュー	学びの改革ミニフォーラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>90 分間のオンラインフォーラム（Zoom ウェビナー）</li> <li>一流講師を招き、年間 4 回実施（4・6・9・11 月を予定）</li> </ul>
	改革アドバイザーの訪問	<ul style="list-style-type: none"> <li>自校の課題に応じた改革アドバイザー（外部講師）を要請</li> <li>実践校への訪問 1 回（3h）+ オンライン 2 回（2h）を予定</li> </ul>
	オンライン情報交換会	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンライン会議アプリを使った、近隣校での情報交換会</li> <li>所管の教育事務所が主催し定期的に実施</li> </ul>
	加配教員の配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>加配教員は、校長の自由裁量で活用可能</li> </ul>
	県内外の先進校への視察	<ul style="list-style-type: none"> <li>自校の改革を進めるために県内外の先進校への視察</li> </ul>
	チームコミュニケーション ツールの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>チームでコミュニケーションを図るアプリ、簡単に情報共有が可能</li> <li>参加は任意だが、学びの改革に関するお知らせを随時更新</li> </ul>
情 報 発 信	学びの改革フォーラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>全県の小中学校教員を対象として開催</li> <li>総合教育センターにて学びの改革実践校の取組を発表</li> </ul>
	Facebook ページ発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育事務所によるリアルタイムな情報発信</li> </ul>
	学びの改革ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>視察の成果を近隣校へ情報発信</li> <li>所管の教育事務所が主催し定期的に実施</li> </ul>

## 5 本事業に係る運営図



### ○役割分担

学校支援幹 義務教育指導係長	義務、学び課長との相談、報告 全体計画統括 課長・主幹会との連絡調整
学びの改革支援課主任	全体事務統括、教育事務所（主任）との連絡調整 会合通知作成、市町村への通知送付 教育事務所へ通知送付 事務所からの書類の整理、処理の受付 SNS 発信等についての計画 学びの改革ミニフォーラムの企画 チームコミュニケーションツールの運用
事務所課長	校長への指導・支援 事務所主任への指示等
事務所主任	実践校への通知送付、視察、アドバイス計画等の書類送付、回収、提出 担当地区実践校の希望視察、アドバイザー訪問等の連絡調整 実践校からの応援要望についての対応 県からの学校訪問の日程調整 事務所だより等での、学びの改革実践校の取り組み発信 各地区の情報交換会の運営・参加とりまとめ

### ○視察およびアドバイザー要請等計画の手順

学び→事務所→学校	視察実施計画用紙配布 アドバイザー訪問要請計画用紙配布	4月発出
学校→事務所→学び	視察計画 アドバイザー訪問支援計画	視察やアドバイザーの計画が決まり次第提出。
学び→事務所→学校	計画承認または変更のお願い	全体予算との絡みで承認
学校→事務所→学び	実施報告書提出	

※視察計画、およびアドバイザー訪問要請計画の様式については、要項に準ずる。

### ○県教委の訪問について

教育事務所が必要に応じて、学びの改革実践校の訪問計画を立案

- <訪問時の内容>
- 学びの改革の実践内容についての懇談
  - 県教委からのアドバイスと具体的な支援内容相談 など

学びの改革実践校（39校）の改革内容

	番号	学校	分類	改革内容	
小 学 校  1 9 校	1	鼎小	学びの仕組みづくり	部分教科担任システムと、チーム学年担任の体制による一人ひとりのよさや可能性をより一層伸長させる学校づくり	
	2	旭町小		地域の教育資源を活用したキャリア教育、縦割り活動の充実による異年齢集団による学び、教師の「得意」を活かした学年教科担任制の実施により、多様な「ひと」とかかわる深い学びの中で、自立した「生涯学習者」を育てる	
	3	鍋屋田小		高学年教科担任制、低中学年担任・教科担任交替、連学年・学年合同授業、全校縦割り学習の推進、アセスメントやタブレットを活用した個別最適化の学び研究により自立した学習者を育成	
	4	富士見小	ICT活用	デジタル教科書（学習者用・指導者用）の活用を含めた ICT 教育の推進と主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善	
	5	高社小		教育クラウドを前提とした一人1台情報端末を活用した授業実践、プログラミング教育	
	6	臼田小	カリキュラム開発	地域素材等を生かした探究的な学び、オンライン交流による対話的・協働的な学び、個別最適化の学びによるカリキュラム作り	
	7	軽井沢西部小		算数の自由進度学習を中心とし、生活・総合をベースとした探究、異年齢集団による活動等により、自立した学び手を育てる授業改革を進める	
	8	明善小		就学前教育担当と年長担任を中心に定期的に相互訪問を行ない、一部の保育を小学校職員が担い、幼児期の学びと成長についての教育理念を構築	
	9	豊洲小		算数を中心とした自由進度学習による授業改善、高学年を中心とした教科担任制の試行、自ら学ぶツールとしての ICT の活用力の向上	
	10	野沢小	授業改善	信州型ユニバーサルデザインの考え方をもとに授業改善、学級経営改善。（UD 2 期校）	
	11	軽井沢中部小		信州型ユニバーサルデザインの考え方をもとに授業改善、学級経営改善。（UD 2 期校）	
	12	滋野小		学習する子どもの視点に立って実践を見直しながら教員研修をOJT型の研修（ミドルリーダーに働きかけ）として、授業改善の取組をより具体的なものにしていく。	
	13	箕輪北小		教科指導力と生徒指導力のある再任用フルの教員によるOJTを通して、町内5小学校の1～6学年の教員の算数の授業力向上と学級経営力の向上を図る取組	
	14	片丘小		信州型ユニバーサルデザインをもとに授業づくり、学級づくりを行い、主体的な学びや学校全体の子どもたちの学びへの意欲が高まるような、授業改善を推進し、片丘小学校UDを構築する（UD 2 期校）	
	15	大町南小		全ての教室で「わかる喜びを味わうことができる授業」が実現することを目指し、信州型 UD の活用で包摂性を高める学校づくり（UD 2 期校）	
	16	松代小		誰もが自分を出し合い、自立し、安心して学ぶことができる学校をめざし学校全体で通常学級における対話的・協働的に探究する学びづくり（授業のUD）に引き続き取り組む（UD 2 期校）	
	17	小井川小		多様性への対応	UD リーダーを中心に学級における支援の在り方について、MIMUを用いた指導、その子らしい学びの実現の視点から授業実践と研修を行う（UD 2 期校）
	18	上田東小		1人1台のタブレット端末の導入に合わせて、デジタル版MIMを活用して、教室内での個別最適な学習の中で特に3rdステージ指導に生かす。	
	19	上村小	出陣編	複式学級の異学年合同の学びの充実、自由進度学習、他校との集合学習や遠隔システムを使った合同学習の推進	

	番号	学校	分類	改革内容
中 学 校 2 0 校	20	伊那中	学びの仕組みづくり	様々な場を ICT 機器でつなぎ、学びの場の選択、学びの場を保証、自ら選び、予習や復習に活用できるシステムを構築、「子どもたちの学び」を評価するためのテスト改善により、学びの環境、授業、評価の3視点を一体化する中で学校改革を実践
	21	丘中		PBL の手法を取り入れた生徒会活動や総合的な学習の時間の推進、居場所・生きがい・存在感のある授業づくり学級づくりにより、生徒の自律性・自治力を高めていく
	22	豊科北中		授業・家庭学習・評価テストを一体とした「学習システム」や授業づくりを支える教職員の「研修システム」、その基盤となる教職員の働き方改革を促す「学校システム」の3つを改善する「自ら学ぶものへ」プロジェクトの推進
	23	長野 東部中		「East Company」を軸に、生徒が、自らの手で学年や学校を改革していく機会を増やし、学年・学校経営に生徒会が参画していく仕組みを整え、近隣の中学校や高校、大学等とも連携した広域的な活動を展開し、生徒や保護者の学校経営参画の推進による地域連携・地域活性のハブとなる中学校づくり
	24	小海中	ICT活用	ICT を活用した中学校区小中学校間の連続的な学びの促進と南佐久中学校間の学びの連携による学びのネットワークの構築
	25	高遠中		ICT を活用した異年齢交流学習、小中高の連携、大学・企業との遠隔交流学習をすすめ、異年齢交流学習のカリキュラムを作成
	26	鼎中		協同的な学び（協同学習）を1人1台の端末を活用する中でも実現できるような取組、不登校生や中間教室で学ぶ生徒、学びへの意欲を失っている生徒などの学びの活性化を教育クラウドを前提とした1人1台端末の活用により推進
	27	白馬中		教育クラウドを活用したSDGs等に関わる協同学習の推進、Google クラウドの効果的な活用を中心に、情報収集や各教科での実践
	28	坂城中		ICT を活用し、生徒同士でテーマを中心に学び合いケアし合える授業に改革し、教室の異入れない生徒や不登校の生徒も共に学べる学校をつくる。
	29	須坂 東中		1人1台端末の効果的な活用、ICT 活用のネットワーク拠点校として小中連携・中中連携により、個別最適な学びと協働的な学びの実現及び学校規模縮小下での働き方改革の実現
	30	上諏訪中		学年担任制、ジョイント・カリキュラムの実践的開発、「諏訪学」の探究型カリキュラムへの転換、「諏訪学」の探究型カリキュラムへの転換、一人一台端末による個別最適な学びの実現による小中一貫教育学校カリキュラム開発
	31	八坂中		6・3制を基本として、発達段階に配慮したカリキュラム開発、ICT を活用した協働の学びの推進、小学校教科担任制による小中の連携推進
	32	清水中		コンソーシアムとして、探究的なサイクルによる「中高大連携」のカリキュラム編成（SASプロジェクト）に取り組む
	33	上田 第三中	授業改善	授業における視聴覚教材やデジタル教科書等のフル活用、家庭学習や特性を持つ生徒への個別支援としてのICT活用を工夫することにより、授業のUD化を図りながら、どの生徒にもわかる授業を実現
	34	諏訪南中		生徒と教師の良さを掘り起こし、共有し、全職員が実践することで、すべての生徒が学ぶ喜びを感じることができる授業づくりを進める（UD2期校）
	35	南宮中		信州型ユニバーサルデザインの考え方をもとに授業改善、学級経営改善。（UD2期校）
	36	信更中		西山6校の連携による合同教科会、共通テストによる学力向上、ICT 機器活用による授業改善の推進
	37	箕輪中	多 様 性 へ の 対 応	校内フリースクールF組」の開設、不登校生が、自らの学びを主体的にデザインし、「自ら考えて判断し動いていく力」を引き出し伸ばす学習システムを構築し不登校生の学びを個別最適化する学習環境の開発
	38	広陵中		ICT を活用した不登校傾向の生徒に対する多様な学びの場の提供と個別に最適化された学びのためのカリキュラム開発
39	安曇中	山間部 連携	遠隔地リモートによる授業の推進により、山間地の小中併設校の学びの改善に取り組む	